

令和7年第3回(3月)  
西原町議会定例会  
一般質問通告

質問日	質問議員		
3月14日(金) 4人	①伊集悟	②仲松勤	③山城勝貴
	④屋比久満		
3月17日(月) 4人	⑤前里光信	⑥大田實	⑦儀間駿太郎
	⑧比嘉利和		
3月18日(火) 4人	⑨真栄城哲	⑩大城好弘	⑪喜納昌盛
	⑫大城誠一		
3月19日(水) 3人	⑬伊計裕子	⑭長浜ひろみ	⑮新田宗信

## 一般質問通告内容(令和7年 第3回定例会)

質問者	① 伊 集 悟 議 員	質問の相手
<p>1. 主体的な進路決定のための新入試制度の対応について</p>	<p>(1) 中学卒業後の進路について、高校進学的人数、割合及び高校別の人数について</p> <p>(2) 特色選抜では、これまでの推薦入試とは違い、学力検査が必須となり、入試日程の変更もありました。特色選抜で受検する生徒や学校の対応にどのような影響があったか。</p> <p>(3) 特色選抜や一般選抜ともに受検生が自ら出願するウェブ出願になりました。学校でのウェブ出願を支援したようですが、成果や課題について。</p> <p>(4) 不登校生徒の進路状況について</p> <p>(5) 特別支援学級及び通級指導教室の生徒の進路状況について</p>	<p>教育長</p>
<p>2. 学校の働き方改革推進計画について</p>	<p>昨年3月県は、教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる学校づくりのための働き方改革推進計画（令和6～8年度）「みんなの学校！ピースフル・プラン」を策定しました。そこで伺います。</p> <p>(1) 当該計画について、初年度どのように取り組んできたか、また、成果と課題について</p> <p>(2) 令和6年度の時間外在校等時間月45時間、月80時間、月100時間以上の教職員の人数及び前年度比について、各校それぞれ伺う。</p> <p>(3) 令和6年度の精神疾患で休職する教員数及び前年度比、特徴について</p>	<p>教育長</p>

<p>3. 西原町のゴミ・不法投棄問題について</p> <p>4. 小那覇・嘉手苺・呉屋の通学路の安全確保について</p>	<p>(4) 令和7年度の学校の働き方改革の取組について</p> <p>(1) 本町のゴミの減量化・再資源化の取組状況及び成果と課題について</p> <p>(2) かねてから課題である道路や河川への空き缶等のポイ捨て、産業廃棄物の不法投棄などのゴミ問題ですが、ごみの不法投棄や放置は、まちの美観を損ない、自然環境や生活環境を著しく悪化させ、町民の日常生活にも悪影響を及ぼす許されない行為です。本町の不法投棄の現状や特徴、対策について伺う。</p> <p>(1) 琉球銀行西原支店裏の道路の横断歩道とスクールゾーンの表示切れ等の安全対策について、昨年9月議会に今年度中に表示や設置工事を完了させる旨の答弁がありました。未だ改善されていません。新学期が始まろうとする中、保護者や自治会から不安の声が再三届いています。状況を伺う。</p> <p>(2) 呉屋の集落内の通学路は、歩道もない狭小な道路ですが、交通量も多いうえ、スピードを出す車両が多く、登下校時の児童生徒や歩行者の安全対策が必要です。呉屋自治会からもハンプ（凸部）の設置やグリーンベルト舗装等の安全対策の要望が出ていると思います。対応状況を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>② 仲 松 勤 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 子供の夢をみんなですべて支える一歩へ（子どもの貧困・保育料無償化・学童利用料・18歳までの子ども医療費につい</p>	<p>沖縄県では低賃金と非正規雇用の多さ・ひとり親世帯の多さ・高い生活コスト・教育格差と学習環境問題（若年者のアルバイトでの生活費補填による学習制限）・社会的支援体制の課題などから、子どもの4人に1人が「貧困状態」と言われています。実際に2022年の平均年収は全国最低レベルであり、手取り年収が122万円以下で暮らす子どもの割合も全国平均の約2倍となっています。またその中でも高校生の子どものいる困窮世帯の割合は26,3%と前回調査（19年度）</p>	<p>町 長</p>

て)

よりも増えている現状があります。子どもの貧困は見えにくい部分でもあり、子どもたちの未来のためにも子育て支援の拡充は緊急的かつ大切な施策であると言えます。子どもの夢を支える一歩として、以下について、我が町の対応並びに現状を問います。

(1) 0-2歳の保育料の無償化推進について

国会衆院予算委員会において、日本維新の会の前原誠司共同代表より0-2歳の保育料支援が不十分との指摘をうけ、石破首相も「保育料が高いことが原因で保育園などに預けたくても預けられないことがないよう、環境整備を進めるべきとの指摘は重く受け止める」としています。我が西原町においても0歳から2歳までの全ての子どもの保育料無償化を実現してほしいと考えます。その場合の必要な予算について問います。

- ア. 対象となる子どもの人数：各年齢0歳、1歳、2歳
- イ. 現在の保育料：年齢別、施設別の平均的な保育料
- ウ. 既存の無償化対象者数：住民全非課税世帯など、すでに無償化の恩恵を受けている子どもの数
- エ. 上記をもって、具体的な予算の算出を問います。

(2) 学校給食費の無償化に向けて

先に述べた貧困世帯に限らず、昨今の物価高騰は子育て世帯にはより重くのしかかる経済的負担となっています。その中で、中学生の給食費について県の半額助成の開始を目前に、我が西原町においても令和7年度より町助成と県補助金の活用で給食費の無償化が始まることとなりました。さらに小学生、幼稚園児及び保育園児についても給食費の半額を町が助成することにもなり、これは大変喜ばしいことであり、子育て世帯の負担軽減を図るための大切な一歩であると言えます。財源確保に向けて尽力していただいたことは意義のあることです。これを受けて、今後さらなる課題として小学生以下の給食費の全額無償化に向けての取り組みと、展望を問います。

(3) 学童保育料について

学童保育の利用で子どもたちの放課後の安心・安全が守られています。以下を問います。

- ア. 放課後児童健全育成事業に関連した学童保育に対する現状と課題について
- イ. 利用者負担の現状、また今後の負担軽減に向けた

	<p style="text-align: center;">対策について</p> <p>(4) 18歳までのこども医療費無料化について  子ども医療費の助成対象年齢を18歳まで引き上げる自治体が全国的に増えています。県内では15歳までの通院・入院無償化で足並みを揃え、うち24市町村は高校生（18歳年度末）までに拡充されています。我が西原町近隣市町村ではほぼ拡充が進んでいることがわかります。＜市町村の詳細について沖縄県こども助成事業市町村制度一覧より＞  名護市、南城市、沖縄市、うるま市、宜野湾市、嘉手納町、北谷町、中城村、与那原町、南風原町、国頭村、大宜味村、東村、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、粟国村、石垣市、渡名喜村、南大東村、伊是名村、多良間村、武富町  上記県内の状況をはじめ、全国では高校生までを助成対象とするのが主流であり、先に述べた高校生のいる困窮世帯率が高い沖縄県においては、より緊急的な対応を図る必要があると考えます。我が西原町においての実現に向け、町長の見解を問います。</p>	
<p>2. 民生委員・児童委員の処遇向上について</p>	<p>民生委員・児童委員の活動は、地域の困窮世帯の支援を含め、福祉向上に大きな役割を果たしています。令和5年度、南城市では民生委員に対し890万円の交付がされています。処遇改善について考える機会とし、制度の見直しをはじめ、県や国への要請をする必要もあると考えます。以下を問います。</p> <p>(1) 民生委員の年間の活動内容等について現状と課題  ア. 民生委員の業務内容や相談、支援活動について  イ. 見守り活動の現状や課題はなにか  ウ. 処遇について年間支給内容はどの程度か  エ. 西原町からの独自の支給はあるか</p> <p>(2) 他市町村の助成活動の状況について、独自の予算支援の状況等も含めその現状は</p> <p>(3) 民生委員・児童委員の処遇向上について町長の見解を問う</p>	<p style="text-align: right;">町 長</p>
<p>3. MICE 施設早期建設について</p>	<p>マリンタウン地区の大型 MICE 計画の入札不調について以下を問います</p> <p>(1) マリンタウン地区の大型 MICE 計画の課題と実現の進捗状況</p>	<p style="text-align: right;">町 長</p>

<p>4. 火葬場建設実現にむけて</p>	<p>(2) 現状の MICE 計画規模・時期・事業内容・県からの予算額の状況・民間との事業計画について</p> <p>(3) MICE 計画入札不調の要因</p> <p>(4) 再公告入札の時期、早期実現と確かな計画内容について</p> <p>(5) 背後地の区画整理事業の事業内容について問う</p> <p>(6) 沖縄産業支援センターで行われた、沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業に係る有識者会議について、その内容や町長の対応を問う</p> <p>火葬場建設について多くの町民の期待が寄せられています。火葬場等整備基礎調整の結果を踏まえ、建設に向けての実施計画はどのようになっているか、町長の見解を問います</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 都市区画整理事業の推進について</p>	<p>都市基盤施設の整備、促進について以下を問います</p> <p>(1) 国道 329 号西原バイパスの整備に伴い、移転を余儀なくされる企業移転先地の区画整理事業について、現状計画やその予算規模は</p> <p>(2) 西地区土地区画整理事業の進捗と完成までの事業計画・予算を問う。さらに令和 7 年度における保留地処分の状況を問う</p> <p>(3) 徳佐田地区・幸地地区の計画進捗状況を問う</p>	<p>町 長</p>
<p>6. 国民の生命や財産を守るため、災害に強いまちづくりを防災(対策・対応)について</p>	<p>(1) 太陽石油(旧南西石油)の後背水路(公用水面)の砂堆積の対策及び水路拡幅整備県外要請行動(内閣府・国土交通省)について</p> <p>ア. 要請内容・課題への対応は</p> <p>イ. これまでに県に対しての要請及び対策は</p> <p>ウ. 今後、国・県・太陽石油・地域との連携が必要となるが予算も含めた対応・対策は</p> <p>(2) 水害対策に向けた小波津川改修計画や予算は</p> <p>(3) 小那覇交差点等における、地域水害・冠水・また、池田地域・棚原地域等土砂崩れへの対応・対策は</p>	<p>町 長</p>
<p>7. 公共交通の充実</p>	<p>沖縄都市モノレール延伸に向けての要請活動と計画・予算案について問う</p>	<p>町 長</p>

質問者	③ 山城勝貴 議員	質問の相手
1. 福祉行政について	<p>施政方針で掲げられている地域包括ケアシステムの実現に向けて、西原町高齢者保健福祉計画（ことぶきプラン）に基づき 2015 年以降、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援等が一体的に提供されるための取り組みが進められてきているかと思えます。</p> <p>現在西原町の 65 歳以上の人口は令和 7 年 1 月末現在で 8,500 名を超え、地域における課題も複雑・多様化してきている現状があります。ことぶきプランに掲げる地域包括ケアシステムの更なる深化、推進のためにはこれまで以上に介護予防事業の推進、介護サービス基盤の整備、介護人材の育成が必要であると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 住宅確保要配慮者への対策について</p> <p>ア. 前回質問時に町内に 81 件の空き家があり、住宅セーフティネットの活用や県の窓口との連携をしていきたいとの答弁がありました。連携体制の現状を伺うとともに住宅支援協議会の設置について改めて見解を伺います。</p> <p>イ. 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律等の一部を改正する法律では、市町村は都道府県の基本方針に基づき当該市町村の区域内における住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する計画（「市町村賃貸住宅供給促進計画」という。）を作成することができる。とあります。沖縄県では沖縄県住生活基本計画が策定されていますが、本町の計画に対する見解を伺います。</p> <p>(2) 地域包括支援センターについて</p> <p>ア. 後方支援として基幹型センターの設置も含め支援体制の現状と今後の取り組みを改めて伺います。</p> <p>イ. 直営方式と委託方式の専門職（社会福祉士）の配置について、直営方式を行っている他市町村では西原町よりも高齢者人口が低い地域で複数名の専門職が配置されており地域のニーズに対応してい</p>	町長

	<p>る現状があります。西原町においても直営方式並みの人員配置は必要であると考えます。見解を伺います。</p> <p>ウ. 西原町は今まで直営方式でセンター運営を行ったことがない状況にあります。現場の状況やノウハウを学ぶ機会の為人事交流などは検討可能か伺います。</p> <p>(3) 高齢者の単身世帯への支援状況について</p> <p>ア. 身寄りのない方への支援について現状と課題を伺います。</p> <p>イ. 身寄りのない方への支援に関するガイドラインの作成について見解を伺います。</p>	
<p>2. こどもの居場所について</p>	<p>こどもの居場所について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 自治会の持続的なこどもの居場所運営のためには運営を引き継いでいける人材の確保や育成が大きな課題であると感じています。担当課としてのサポート体制について伺います。</p> <p>(2) こどもたちが抱える課題は複雑、多様化しています。こどもの居場所づくりについて改めて目的、共通認識などを共有するため、勉強会等も必要であると考えます。見解を伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 子育て環境・支援について</p>	<p>子育て環境・子育て支援について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 保育園の延長保育について町内の実施状況を伺います。</p> <p>(2) 保育士確保のため次年度においても保育補助者雇上げ強化事業、保育士正規雇用化促進事業が実施されます。その事業目的である保育士業務の負担軽減と離職対策について効果は検証されているか伺います。</p> <p>(3) 放課後児童健全育成事業について新一年生の待機児童数を伺います。</p>	<p>町 長</p>

<p>4. 下水道整備工事について</p>	<p>(4) 新一年生の保護者から学童に入ることができなければ他市町村への移住する、母親が退職を検討せざるをえないという声も上がっており、何年も同じ課題に直面している現状があります。受け皿整備について今後の取り組みを伺います。</p> <p>現在柵原区内において下水道整備工事が進められております。以下の点をお聞きします。</p> <p>(1) 工事の進捗状況、今後の計画について伺います。  (2) 区民へ説明の機会は必要であると考えます。説明会などの実施は検討されているか伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>④ 屋比久 満 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 施政方針について</p>	<p>柵原町長は、2期目のスターとなる令和7年度の施政方針について、1期目に着手、推進した取り組みを深化し、新たに掲げた公約の着実な実現に向け全力で取り組むという決意を述べておりましたが、素晴らしいことだと思います。そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 出産支援・子育て支援推進していく取り組みは重要であると考えている。との事ですが、具体的な内容をお聞きします。</p> <p>(2) 交通安全施設の整備で事故防止に努めるとあるが、国道329号線与那原向けの、我謝入り口にポールが新設されており、地域住民から我謝地内へ右折がしにくく、逆に事故や渋滞に結びついていると苦情が寄せられているが、町長の見解をお聞きします。</p> <p>(3) 水道施設について、整備拡充、老朽化が進行する維持管理に努めるとあるが具体的な考えをお聞きします。</p> <p>(4) 大型MICE施設建設について、県の入札不調が続いて建設がいつになるか完成が見えません。建設に向け</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>2. 学校給食について</p>	<p>て私は、懐疑的であります。 そこで、サンライズ推進協議会で、沖縄初の大型商業施設の誘致に方向転換してはいかがでしょうか。</p> <p>(5) 都市基盤施設の整備の中で、東崎兼久線について、何回か質問していますが、国道前までは形が見えているが、兼久交差点の工事について進捗が見えない状況の中、早急な整備が必要だと考えるが、進捗遅れの見解をお聞きします。</p> <p>(6) 公共交通の充実の中で「西原町地域公共交通計画」とあるが、具体的な考えをお聞きします。</p> <p>(7) 民間活力の活用推進とあるが、具体的な考えをお聞きします。</p> <p>去る新聞の調査によると、県内の公立学校の給食、カルシウム・鉄分・食塩が、国の摂取基準を下回るとあるが、成長期の子どもたちの為に、国の基準を上回る栄養が必要ですが、そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 本町の状況をお聞きします。</p> <p>(2) 本町の給食費（幼、小中学）の半額補助の導入は何時から始まのかをお聞きします。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑤ 前 里 光 信 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町政運営について</p>	<p>(1) 町長の施政方針の中から</p> <p>ア. トップセールスによる財政健全化 その中で企業版ふるさと納税について、今回予定されている企業があれば、どの企業かをお示し願いたい。これまで協力した企業の職員は退職となっているが、今後別人の協力もあるのか。</p> <p>イ. 環境保全対策の推進 「火葬場等整備基礎調査の結果を踏まえ、町とし</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>2. 教育行政について</p>	<p>ての課題解決に向けて、今後の方針等の検討を引き続き行います。」とあるが、それは何をどうしようとしているのか、具体的に示されたい。</p>	
	<p>ウ. 健康と福祉のまちづくりについて 「透析導入患者の減少等に取り組めます。」とあるが、その対策とはどのようなものか。透析を受けている町民は何人いるのか。</p>	町 長
	<p>(2) 西原町は西原町社会福祉協議会や西原町商工会、西原町シルバー人材センター等西原町が補助している団体は現在いくつあって、その補助金は全体でいくらになっているのか。又今後、自立する見通しはあるのか。</p>	町 長
	<p>(3) 去る2月27日の沖縄タイムスによると、OIST 発企業システム開発が高齢者の転倒 AI で防止すると報道している。これが実現した際西原町の介護施設の業務効率化に役立と解するが、西原町はどう評価しているか。</p>	町 長
	<p>(4) およそ100年～150年の間隔で繰り返されてきた大規模地震がいわゆる南海トラフ地震による津波は沖縄気象台の予測では沖縄に到達に約50分で津波の高さは最大で3～5mと予測している。その対策として町当局はいかなる考えを持っているか。</p>	町 長
	<p>(5) PFAS 汚染について西原町はどのような現状にあるか。今後の対策はどうなっているか。</p>	町 長
	<p>(6) 今、国会で話題になっている「103万円の壁」がもし160万円に引き上げられたら、西原町にどのような影響がありますか。</p>	町 長
	<p>(1) 西原町の特別支援教育の実状についてお聞き致します。「個別最適な学びの場」の提供とはどのようなものか。</p>	教育長

質問者	⑥ 大田 實 議員	質問の相手
1. 琉大跡地利用について	<p>皆さん今日は、4番議員大田實です。よろしくお願ひいたします。毎度ながら手短く3点だけですが、切実なる答弁をよろしく願ひます。</p> <p>琉大上原キャンパス跡地建物利用の2案で示された現状の建物を利活用して薬学部を導入したらどうか。沖縄県含め薬学部を置いてない県が14県あるようですが、沖縄県の場合資格を得るのに6年間も県外で生活費や交通費等に費やすのも不利かなと思います。是非検討できるか伺う。</p> <p>薬草研究等で、副作用の少ない漢方とかも開発され経済効果にも結び付く。また跡地建物利用にハワイの東西センターを沖縄でも設置し、更なる移民者との友好や留学を活性化する。</p>	町 長
2. 土地用途変更について	<p>12月定例にも仲松議員から出たところですが小波津からJA マルシェ、役場周辺の土地用途変更について相変わらず周辺住民から要望があります。ある方は「小作料は要らないから何とか耕してくれないですか？」高齢のため畑離れが年々増加傾向にあります。土地利用の見直しを早期に実現し住宅地等の拡充を図る。町長の施政方針にもあるようマルシェ周辺は集客区域として観光開発するとあります。てだこ駅から西原町向けにモノレール構想もあり実現すればかなり集客力になります。可能か伺う。</p>	町 長
3. 329号バイパスにパーキングエリア併設	<p>2030年目途に329号バイパスが開通予定となります。それに伴い大型車や勿論一般車両も利用できるようなパーキングエリア、道の駅を設けたらどうか。その際に食堂やコンビニも併設する。丁度西原町、中城村は、職業運転手には那覇や中南部、北部ルートからいい休憩拠点となります。経験者は語る。</p>	町 長

質問者	⑦ 儀 間 駿太郎 議 員	質問の相手
1. 財政について	<p>本町の財政状況についてお伺いします。</p> <p>(1) ネーミングライツ導入の現状はどのようになっているか。</p> <p>(2) ふるさと納税の令和5年、令和6年の実績はどのようになっているか。</p> <p>(3) 今後の自主財源を増やすためにどのような計画等があるでしょうか。</p>	町 長
2. まちづくりに ついて	<p>本町のまちづくりについてお伺いします。</p> <p>(1) MICE 施設の計画が遅れることによる本町への影響はどのような影響があるでしょうか。</p> <p>(2) ParkPFI 制度を活用し、更に町の活性化につなげることができるのではないかと考えるがいかがでしょうか。</p> <p>(3) 公共施設の建て替え、新設における PFI 制度の活用に対してどのような考えがあるでしょうか</p> <p>(4) 観光拠点施設周辺の整備の現状と今後のスケジュールはどのようになっているでしょうか。</p>	町 長
3. 平和事業につ いて	<p>戦後80年の節目の本年における動きをお伺いします。令和7年度予定している平和事業はどのような事業があるでしょうか。</p>	町 長
4. 教育行政につ いて	<p>本町の教育行政についてお伺いします。</p> <p>(1) 本町の小中学校における金融教育等を積極的に行うことを検討しているでしょうか</p> <p>(2) 体育館における空調設備導入の検討はあるでしょうか。</p> <p>(3) 校務のデジタル化によって教職員の働き方はどのようになったか。また、今後どのような計画等があるで</p>	教育長



<p>2. 下水道整備による坂田地区の恒久的な道路整備について</p>	<p>町の「中長期的下水道計画」に、内水氾濫対策として「雨水ポンプ場」を計画すべきと考えますが、町の方針を伺います。</p> <p>昭和46年（1971年）RBC開発株式会社が「海がみえ、見晴らしが素晴らしい高台に快適な住まいを」として「坂田ハイツ」を開発しました。今日、50余年の時を経て私道路による劣悪な道路および歩道が存在しており、過去において坂田自治会から町道認定の要請等がありましたが、この道路には多数の地権者が存在しており全ての道路を合筆登記して西原町に提供しなければ、法律上、町道として認定ができない現状です。このため、老朽化による建て替えを行う場合、合併式浄化槽でしか建築許可が下りません。また、現存する浄化槽は経年劣化により機能していないものが多いと推察されます。</p> <p>そこで、私案ですが、下水道の本格敷設整備を進めながら、同時に該当住宅は下水道に接続する。西原町は下水道敷設後、道路・歩道を恒久的に整備管理するという方策はいかがでしょうか。</p> <p>その際、坂田自治会が責任をもって地権者から下水道管敷設の許可を得ること、施工時期については西原町の下水道敷設計画に準じて行うこと、とします。</p> <p>以上のとおり、町と自治会が協働して施策を進めることにより、良好な住宅環境整備が実現できると考えます。</p> <p>さらに、団地が一括して接続率が上がるため、下水道料金収入改善の一助になると考えますが、同地域の下水道整備と道路整備管理について、町の考えを伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑨ 真栄城 哲 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 西原さわふじマルシェについて</p>	<p>農業振興及び観光振興を担う施設として、2020年12月にオープンした「西原さわふじマルシェ」が指定管理され、折り返しの時期です。当初の目的や役割が計画通り実施されているのか、検証する時期と考えます。</p> <p>以下の件について伺う。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 子どもを産みやすい・子育てしやすいまちづくりについて</p>	<p>(1) 直売所施設、加工施設、カフェ・レストラン、ピロテ ィー、歴史・文化展示室それぞれの設置計画に基づい た現状を伺う。</p> <p>(2) 当該施設の経営状況を伺う。 ※昨年度までの当初計画と比較。</p> <p>子育ては、国家的プロジェクトとっても過言ではない。我 が国は、世界に類のない超高齢化社会であり、さらには少子 化による社会を支える世代の減少が、社会活動にさまざまな 影響を及ぼしている。今年2月、三名の議員で、宇都宮市の 子育て世代に特化した施策について行政視察を実施した。 以下の件について伺う。</p> <p>(1) 町長の子育て政策関する重点課題を伺う。さらに、ど の様な政策を実施し町民に示していくのか伺う。</p> <p>(2) 子育てに関する町民からの要望が多いものは何か。</p> <p>(3) 本町の子育てに関する施策で、他自治体と比較し特化 しているものはあるか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 西原西地区土 地区画整理事業に ついて</p>	<p>当該事業は、事業完了が大幅に遅れ、一番の協力者である 地権者の皆様に、多大なご迷惑とご負担をお掛けしていま す。また、財政健全化にも期待がもてる事業の遅れは、財政 運営にも影響が大きい。 以下の件につて伺う。</p> <p>(1) 町長は、財政健全化やまちづくりの中で最重要課題と しているが、現状は大きな変化がない。具体策を伺う。</p> <p>(2) 当該事業の開始年から完了予定の事業計画変更、工期 変更等のスケジュール伺う。</p> <p>(3) 令和4年以降の進捗状況、事業費の残額。それに伴い、 令和14年度に完了できるのか伺う。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑩ 大城好弘 議員	質問の相手																																																	
1. 執行体制について	<p>(1) 本町の人口は R7 年 1 月 31 日で 35,641 人と 25 年間ほとんど増減なしで推移している。少子化、高齢化が進捗が進み、南小学校区では新入学児童数が 1 クラスの人数で地域格差が生じている文教まち西原として、その対応について問う。</p> <p style="text-align: right;">※ア. イ資料提供希望</p> <p>ア. 各小学校区新入学児童数について</p> <table border="1" data-bbox="587 584 1294 831"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>坂田小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>南 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>西 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>イ. 80 歳以上高齢化の推移について</p> <table border="1" data-bbox="608 880 1294 976"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ア) 特に南小学校区の人口数を増ための対応策について</p> <p>(イ) 若者が定住できる土地利用の見直しについて</p> <p>(2) 令和 7 年度土地区画整理事業費は 425,680 千円と予算化されている。</p> <p>ア. 事業の概要について</p> <p>イ. 進捗率と今後の見通しについて</p> <p>(3) 東崎、兼久道線の供用開始の時期について</p> <p>(4) 小波津川橋梁工事の進捗について 川工事現場に、ケイサツ、消防の立合が見受けられたが、現場の状況を聞く。</p> <p>(5) 太陽石油施設整備 2,200 億円・脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金を利用、再生航空燃料製造、新聞報道について</p> <p>ア. 本町に経済メリットについて</p> <p>イ. 雇用の状況について</p> <p>ウ. 今後の進捗と対応について</p>		R1	2	3	4	5	6	坂田小							南 小							西 小							東 小								R1	2	3	4	5	6	人数							町 長
	R1	2	3	4	5	6																																													
坂田小																																																			
南 小																																																			
西 小																																																			
東 小																																																			
	R1	2	3	4	5	6																																													
人数																																																			

質問者	⑪ 喜納昌盛議員	質問の相手
1. 町長の施政方針について	<p>崎原町長 2 期目開始の施政方針が示された。第 3 期の西原町まちづくり指針の策定も始まっており、その流れに沿った所信表明と理解する。そこで以下の点についてお聞きします。</p> <p>(1) 「新たに掲げた公約の着実な実現に向け全力で取り組む」とあるが、その新たに掲げた公約とは何か。</p> <p>(2) 学校給食費の無償化は、動き出した。思い返せば 10 年ほど前、町長が副町長の頃から「公約」云々が交わされてきた経緯がある。次年度は国や県の施策で保育園、幼稚園、小中学校で全て完全にとはいかないが始まる。一旦始めた事業、再来年はどうなるか解らないでは済まされないと考えるが、町長の英断を求めるが。</p> <p>(3) 今年は戦後 80 年の節目の年。反戦平和事業への町長の思い入れと、特に強調したい事業は何か。</p> <p>(4) 中央公民館立替えについては触れていないが、老朽化比率は 100% に近い。町民交流の場、生涯学習活動の拠点としての役割は計り知れない。早急の立替え方針が求められていると考えるが、2 期目の施策に入らないのか。</p> <p>(5) 「無電柱化推進計画」とは、どの地域を想定しているのか。</p> <p>(6) 国民健康保険特別会計の累積赤字解消計画は、次年度どう進めるのか。県との保険料統一の課題解決策は話し合われているのか</p> <p>(7) 新たに立ち上げる「西原町地域公共交通協議会」の目的と内容、そして「西原町地域交通計画」はどのような青写真を描いているのか。</p>	<p>町 長</p>
2. その他の事項について	<p>国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会のその後の動きは。都市計画変更協議は始まっていないのか。</p>	<p>町 長</p>

質 問 者	⑫ 大 城 誠 一 議 員	質問の相手
1. 带状疱疹ワクチンの定期接種化について	<p>带状疱疹ワクチンの定期接種始まる</p> <p>新聞報道によると、国は带状疱疹の定期接種化を4月から始めるとしている。带状疱疹は刺すような痛みを伴う帯が皮膚上に現れる。50歳以上で発症率が高くなる。定期接種の対象は65歳以上の人と60から64歳で基礎疾患がある人となっている。自己負担額は市町村が決める。ただし低所得者の自己負担をなくすために、総接種費用3割には普通交付税措置が講じられる見通しという。また、町長の令和7年度施政方針では、高齢者においては、新たに定期接種の対象となる带状疱疹ワクチンについての接種体制を整えるとともに、接種費用の助成を行い発症の予防及び重症化予防を図る。としている。带状疱疹ワクチンはこれまで任意接種あつかいで全額自己負担であった。</p> <p>(1) 本町は次年度から带状疱疹ワクチンの定期接種を始めますか。</p> <p>(2) 実施する場合の対象年齢についてお聞きします。</p> <p>(3) 助成額は接種費用の何割負担を予定していますかお聞きします。</p>	町 長
2. 避難行動要支援者名簿等作成業務について	<p>町長の令和7年度施政方針のなかで、第一次西原町地域福祉計画・第4次西原町地域福祉活動計画に基づき、町社会福祉協議会など、関係機関と協働し、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現に向け取り組むとともに、地域も防災対策として、災害発生時または発生する恐れが合う場合において避難行動要支援者を災害から保護するための名簿作成に努めます。とある。</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画作成の進捗状況についてお聞きします。</p> <p>(2) 避難行動要支援者名簿に登録済みの要支援者の人数をお聞きします。</p>	町 長

<p>3. 学校運営協議会の運営について</p>	<p>(3) 避難行動要支援者の対象者の範囲についてお聞きします。</p> <p>各学校の実施回数や主な協議事項などの運営実績についてお聞きします。</p>	<p>教育長</p>
<p>4. 特別支援教育のより充実に向けて</p>	<p>町長の令和7年度施政方針で、特別支援教育のより充実に向けて、特別な支援を必要とする幼児、児童生徒の自立と社会参加を見据えつつ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別最適な学びの場の提供と幼児児童生徒に関わる支援者の資質向上及び連携強化に努めるとある。</p> <p>(1) 特別な支援を必要とする児童生徒は、学校ごとに何人いるかお聞きします。</p> <p>(2) 各学校の在籍率及び町全体の在籍率についてお聞きします。</p> <p>(3) 支援の学級は1クラス最大定員何人ですか。</p> <p>(4) 南小学校2年次のクラスでは、普通学級に27人、支援学級に11人で交流学級で交流授業を行うときに38人となり授業環境が厳しいとの声が聞こえます。改善方策についてお聞きします。</p> <p>(5) 今年度から指定を受けた通級指導教室モデル事業についてお聞きします。</p> <p>(6) 特別支援教育を担当される先生方のスキルアップをどのようにしているかお聞きします。</p>	<p>教育長</p>

質 問 者	⑬ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. 平和行政について	<p>今年には戦後 80 年、被爆 80 年。西原町非核反戦平和都市宣言 40 年です。昨年は日本被団協がノーベル平和賞を受賞。2021 年に発効した「核兵器禁止条約」の第 3 回締約国会議が去る 3 日から始まりました。唯一の被爆国である日本政府は批准しないばかりかオブザーバー参加さえしませんでした。石破首相は、トランプ大統領との首脳会談で、大統領がパレスチナ・ガザ地区の住民を強制移住すると発言したことに対して、国連事務総長や米国の同盟国であるフランスやドイツが批判していることとは対照的に、一言も触れませんでした。来年度予算案は、国民は物価高騰で苦しんでいる中、暮らしの予算は実質マイナスとなっている一方、軍事費は前年度比 9.5% 増となり、満州事変前後を上回っていると指摘されています。2 月 19 日から始まった日米共同訓練「アイアンフィスト」が 3 月 7 日まで九州・沖縄の広範な地域で実施され過去最大規模の参加で行われます。非核反戦平和と沖縄を二度と戦場にさせないという声と運動が求められていると思います。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 町長の認識・見解を伺います。</p> <p>(2) 内間にあります「非核反戦平和都市宣言」の塔が壊れたままとなっています。節目となります今年にたて直していただくと同時に上地区の方にも何本か立てることを検討いただけないでしょうか。</p>	町 長
2. 特別支援教育について	<p>沖縄県教育委員会は「沖縄県特別支援教育推進計画」（令和 4 年度～13 年度）を策定しています。その基本方向として、「共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育システムの理念が重要であり、可能な限り同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに応じて最も的確に答える指導を提供できるよう、多様で柔軟な仕組みを整備していく必要があります」と。6 月議会で伊集議員から、西原南小学校 2 年生が通常学級 27 名と支援学級 11 名が 1 クラスとなり現場が疲弊している旨の質問があり、法的には問題はないが、さまざまな努力を行ってられるとのことでしたが、最近現場から「来年度もこのまま 1 クラスとなるのか、何とかしてほしい」と切実な声</p>	教育長

<p>3. 道路の白線について</p>	<p>が寄せられました。この問題は、県の推進計画の基本方向の視点で、子どもたちを真ん中にした町教育委員会と県教育委員会の協議で解決すべき問題だと思いますが、教育長の見解を伺います。</p> <p>西原小学校近くの横断歩道の白線がほぼ消えているとの指摘が以前あったと思いますが、そのままです。南小学校の近く、東小学校正門近くでもほぼ消えていました。学校近くではない場所以外やセンターラインなどでもかなり見受けられ、町民から「危険だ。早く対応してほしい」との声が寄せられました。子どもたちの安全を守るために、そして事故が起こる前に早急な対応が必要だと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 学校給食無償化について</p>	<p>昨年値上げした分を町負担としたこと、そして、「施政方針」で「令和7年度においては、町による助成と県補助金の活用により中学校は無償とし、小学生、幼稚園及び保育園児は半額」としていることに対して、高く評価しています。ただ、「令和7年度において」とあり、財源が物価高騰における国の交付金の活用ということです。来年度以降について町長の見解を伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 高額療養費制度について</p>	<p>施政方針では、「誰もが生き生きと暮らせる社会の実現」の項で、がん治療による外見変化に対するサポートを新たに実施する旨とあります。そのサポートは評価しますが、政府が、がん患者など多くの国民の声を聞かずに、高額療養費制度の患者負担限度額を今年8月からの引き上げは実施するとしています。これでは、生きる希望が見いだせないという声もあります。町長の見解を伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑭ 長 浜 ひろみ 議員	質問の相手
<p>1. 令和7年度施政方針から無電柱化推進計画について</p> <p>2. 帯状疱疹予防接種について</p> <p>3. 学校給食費無償化について</p> <p>4. 子育て支援について</p> <p>5. 住民相談から地域課題について</p>	<p>(1) 近年では防災や景観の観点から無電柱化の取り組みが進められていますが「電線共同溝方式」か「直接埋設方式」のどちらでの工事となるのか。</p> <p>(2) 無電柱化の予算配分は？西原町、電力、通信も関係してくるか。</p> <p>(3) 計画の実施時期は。</p> <p>(1) 帯状疱疹のワクチン予防接種の実施内容を伺う。</p> <p>(2) 過去に実施した予防接種で前期高齢者、後期高齢者の予防接種受診率は。</p> <p>(1) 中学校の給食無償化が始まりますが私立中学校に通っている子どもの給食無償化はどうなるか。</p> <p>(1) 令和7年度の待機児童を年齢別に伺う。</p> <p>(2) 保育士不足と処遇改善について</p> <p>(3) 公私認定こども園の子育て支援事業の現状と取り組みについて。</p> <p>(1) 東崎自治会のがじまる広場付近防犯灯設置について</p> <p>(2) 小波津団地から県道155号線の三叉路交で左折の際カーブミラーがあれば事故防止になるので設置してほしい旨の相談があるが。</p> <p>(3) 棚原「こぼとゆがふ保育園」への道路舗装について</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
質問者	⑮ 新 田 宗 信 議員	質問の相手
<p>施政方針について</p>	<p>(1) モノレールの誘致（延伸）について次の見解を伺う。 ア. トップセールスとして令和6年度の活動の中でモノレールの延伸に関する活動を伺う。 イ. 西原町の将来ビジョンとモノレールの延伸について</p>	<p>町 長</p>

	<p>て見解を伺う。</p> <p>ウ. モノレールの延伸は本町のまちづくりに必要不可欠だと思うが町長の見解を伺う。</p> <p>(2) 地域活性化事業の推進について。</p> <p>ア. 地域活性化事業の推進を図る上で、自治会事務所(公民館)の設置について今一度、見解を伺う。</p> <p>イ. コミュニティの形成と自主的な地域活動を促進するための予算的施策は何を示すのか。</p> <p>ウ. 地域公民館等、コミュニティ施設の設置について補助金の増額の見直しはないか伺う。</p> <p>(3) 認可地縁団体としての役割について。</p> <p>ア. 認可地縁団体としての財産区的役割をにっている自治会はいくつあるか伺う。</p> <p>イ. 共有名義を有する自治会はいくつあるか伺う。</p> <p>(4) 自治会所有の共有名義について。</p> <p>ア. 自治会への名義変更はどの様に行われるか。</p> <p>イ. 自治会に関する情報の共有の在り方を伺う。</p> <p>ウ. 崎原土地改良区の共同名義の状況を伺う。</p> <p>(5) 消防・防災体制等の確立について。</p> <p>ア. 地震、津波等における災害対策及び地域連携についての見解を伺う。</p> <p>イ. 防災無線の改修に伴う注意点は何か、過去の設置状況を踏まえての見解を伺う。</p> <p>ウ. 災害対策に向けて地域消防団等の設置が必要と思われるが町長の見解を伺う</p> <p>(6) 環境保全対策の推進について。</p> <p>ア. ごみ焼却施設の設置に伴う環境被害についての見解を伺う。</p> <p>イ. ごみ搬送時における住民への環境被害についての見解を伺う。</p> <p>ウ. 指定ごみ袋について、他の町村との足並みはどのようなになっているのか伺う。</p> <p>エ. まちづくり基本条例にうたわれている町民の知る</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 農業委員会 会長</p>
--	---	--

	<p>権利をどのように説明するのか。</p> <p>(7) 西原町まちづくり基本条例について</p> <p>ア. 執行機関の議会への参加と説明責任についての見解を求める。</p> <p>イ. 農業行政に関する農業委員会の令和7年度の政策を農業委員会会長に伺う。</p> <p>ウ. 町民からの意見、要望、苦情等への対応と記録の開示をどのように行っているのか伺う。</p> <p>エ. 令和5年度の決算による監査委員の意見書を踏まえ、今年度予算編成における監査委員の見解を伺う。</p> <p>(8) その他、町政全般について</p> <p>ア. 津花波土地改良区の現状と課題について伺う。</p> <p>イ. 地産地消の取り組みについて現状と課題を伺う。</p> <p>ウ. 西原まつりについて作業工程を伺う。</p> <p>エ. 二元代表制についての見解を伺う。</p> <p>オ. 小波津川の改修工事について現状を伺う。</p> <p>カ. 町道管理の瑕疵に起因する損害賠償の内訳と対策を伺う。</p> <p>キ. 金秀鉄工横の新設予定道路の設置計画を伺う。</p> <p>ク. 観光PR振興事業における費用対効果を求める。</p> <p>ケ. 水道料金の改定について見解を伺う。</p> <p>コ. 負担付贈与又は寄付行為についての見解を伺う。</p> <p>サ. 図書館周辺の公園計画について現状を伺う。</p> <p>シ. 漁具倉庫の整備について伺う。</p>	<p>町長 農業委員会 会長</p> <p>監査委員</p> <p>町長</p>
--	---	--